

サテライトオフィス 「ICT KŌBŌ」 について

TOPPAN デジタル株式会社

| すべてを突破する。TOPPA!!!TOPPAN



2023年10月設立
TOPPANホールディングス株式会社

2023年10月設立
TOPPAN株式会社

旧凸版印刷主要部門

印刷テクノロジーをベースに
お客様や社会課題を解決

2023年4月設立
TOPPANエッジ株式会社

旧凸版印刷セキュア事業部
+
旧トッパン・フォームズ

高いセキュリティと
運用ノウハウを伝達し、課題解決へ

2023年10月設立
TOPPANデジタル株式会社

旧凸版印刷
DXデザイン事業部

デジタルソリューションで
お客様のビジネス変革をサポート



Expanding the Digital Potential

未来に挑む。世界を変える。

TOPPANデジタルは、現場の視点に立ったソリューションで
社会に貢献し、デジタルの力で新たな未来を築きます。

DXを推進する新たな開発拠点



システム開発体制とデジタル人財の強化

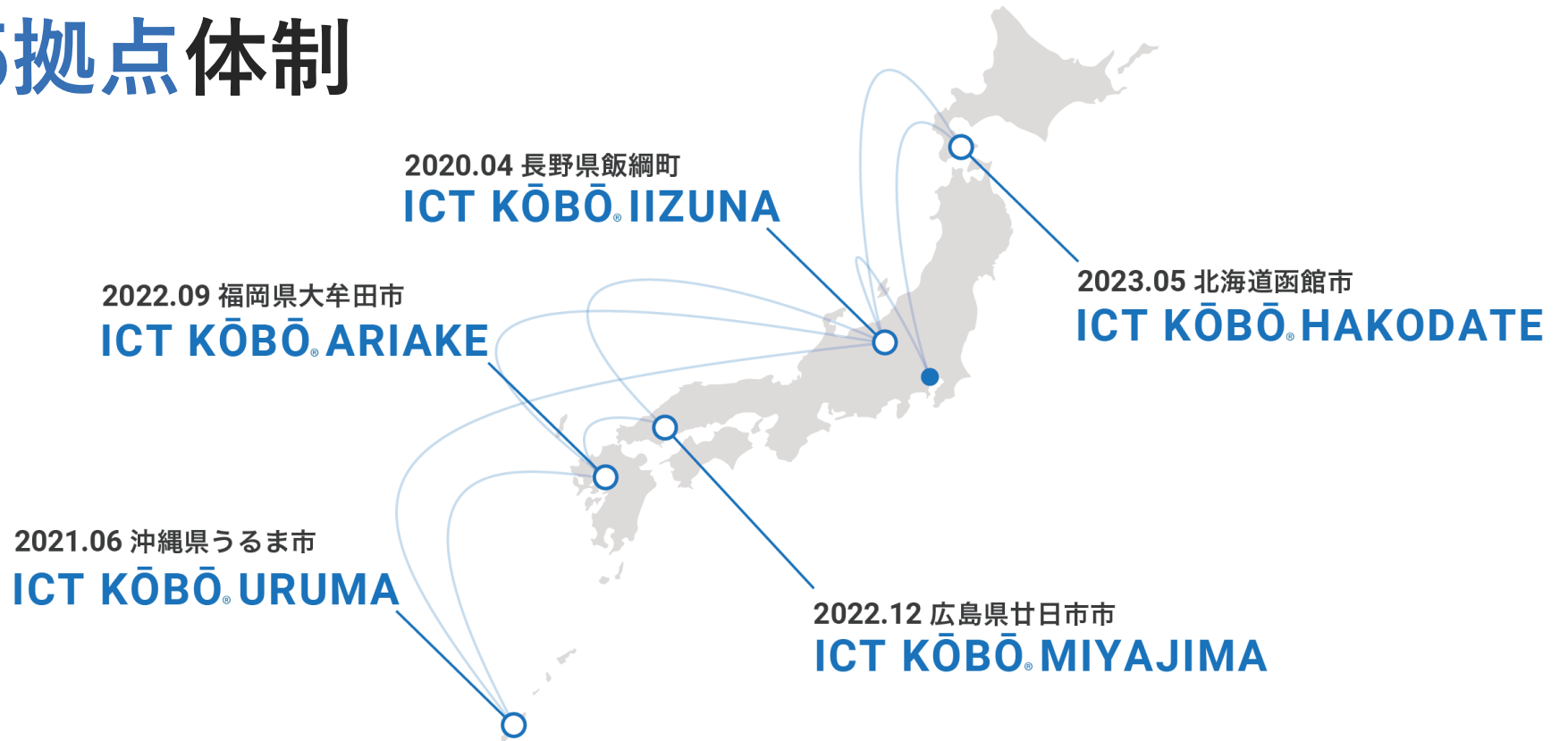
地方環境を活用した地域の人々や企業との交流による新事業創出

現地雇用拡大などの地域活性化を目指す

| サテライトオフィスプロジェクト「ICT KŌBŌ®」

地方をビジネス創発の起点へと変革

ICT KŌBŌ 全国5拠点体制



ICT KŌBŌ®の取り組み -ニアショア開発-

● ニアショア開発による事業基盤構築

主に在京案件のシステム開発をTOPPAN(株)の東京部隊と連携し実施。

住宅ローン審査一括申込サービス等の「タブレットアプリケーション」や、マイナンバーカードを用いた「本人確認認証システム」、自治体様向けの「情報格差解消アプリケーション」など幅広く開発。

➔ 新規ビジネスや研究開発、人財育成へ取り組む事業基盤を構築



雇用創出・人財採用

UIJターンエンジニア
中途採用強化

地元で働きたい学生
新卒採用強化

地域の人財を育てる
DX人財育成

| ICT KŌBŌ®の取り組み -雇用創出・人財採用-

● 全国での中途採用強化

UI/ターン希望のエンジニアをターゲットに、現地での中途採用に注力。
2020年のオフィス開設から2023年11月現在まで、サテライトオフィス全体で27名採用。
全国各地で、様々なスキルを持った優秀な人財の採用につながっている。
→ 2028年には200名規模への拡大を目指す

【中途採用実績】

北海道：1名 / 長野県：9名 / 沖縄県：8名 / 福岡県：5名 / 広島県：4名

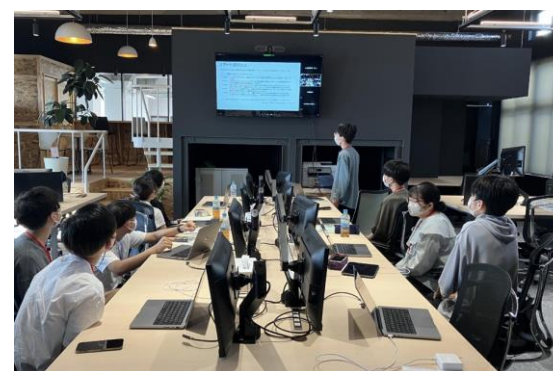


| ICT KŌBŌ®の取り組み -雇用創出・人財採用-

● 新卒採用強化に向けたインターンシップ

地元で働くことに対して興味のある学生を対象に、全国のサテライトオフィスでは、リアルでのインターンシップの受け入れを実施。2023年度には、全国5拠点で総勢60名の学生が参加。「ものづくりの一連の流れを体験する」ということをテーマに、各オフィスごとに地域の課題に対して学生と共にアプローチ。

→ TOPPANの認知度向上、地方での職業体験の場を提供



| ICT KŌBŌ®の取り組み -雇用創出・人財採用-

● 地域におけるDX人財の育成

地元教育機関と連携し、「小学生へのデジタル教育支援」や「高専学生への技術チューター支援」を行い、若年層のデジタル知識向上へ寄与。さらには、社会人エンジニア向けに技術を共有する機会「エンジニアイベント」を実施し、地方エンジニアの育成支援を実施。

➔ 地域のDX人財を育成し、地方人財のデジタルレベルの底上げへ

ICT KŌBŌ IIZUNA

小学生へのデジタル教育



ICT KŌBŌ ARIAKE

高専技術チューター

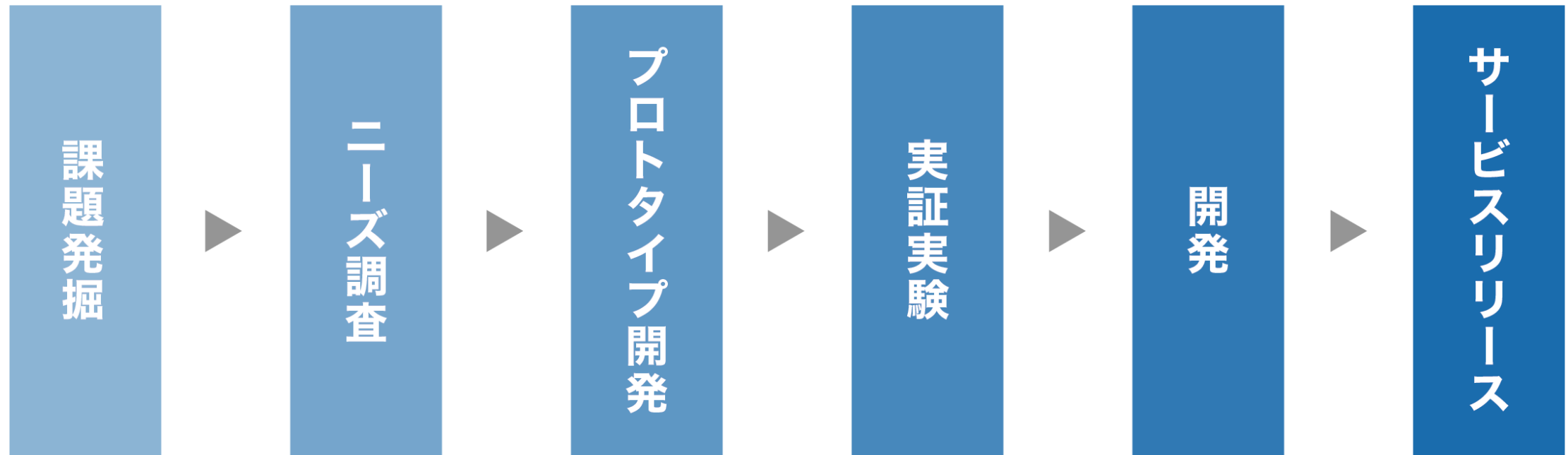


ICT KŌBŌ URUMA

社会人エンジニアイベント



地域との交流によるソリューション開発

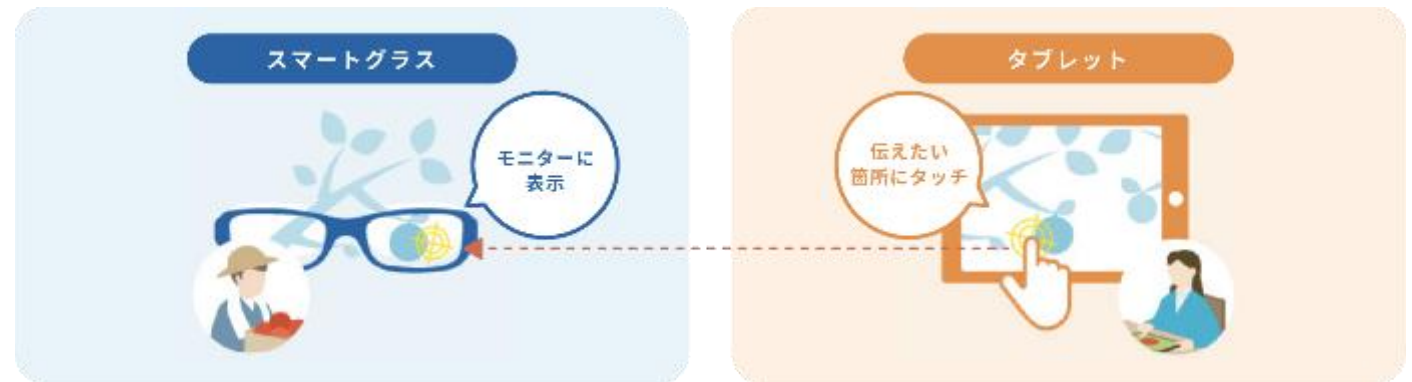
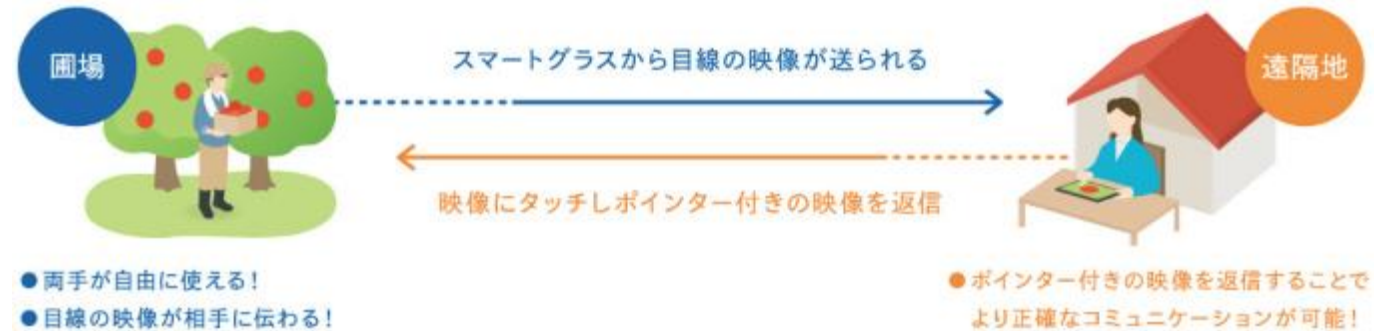


ICT KŌBŌ®の取り組み -地域との交流によるソリューション開発-

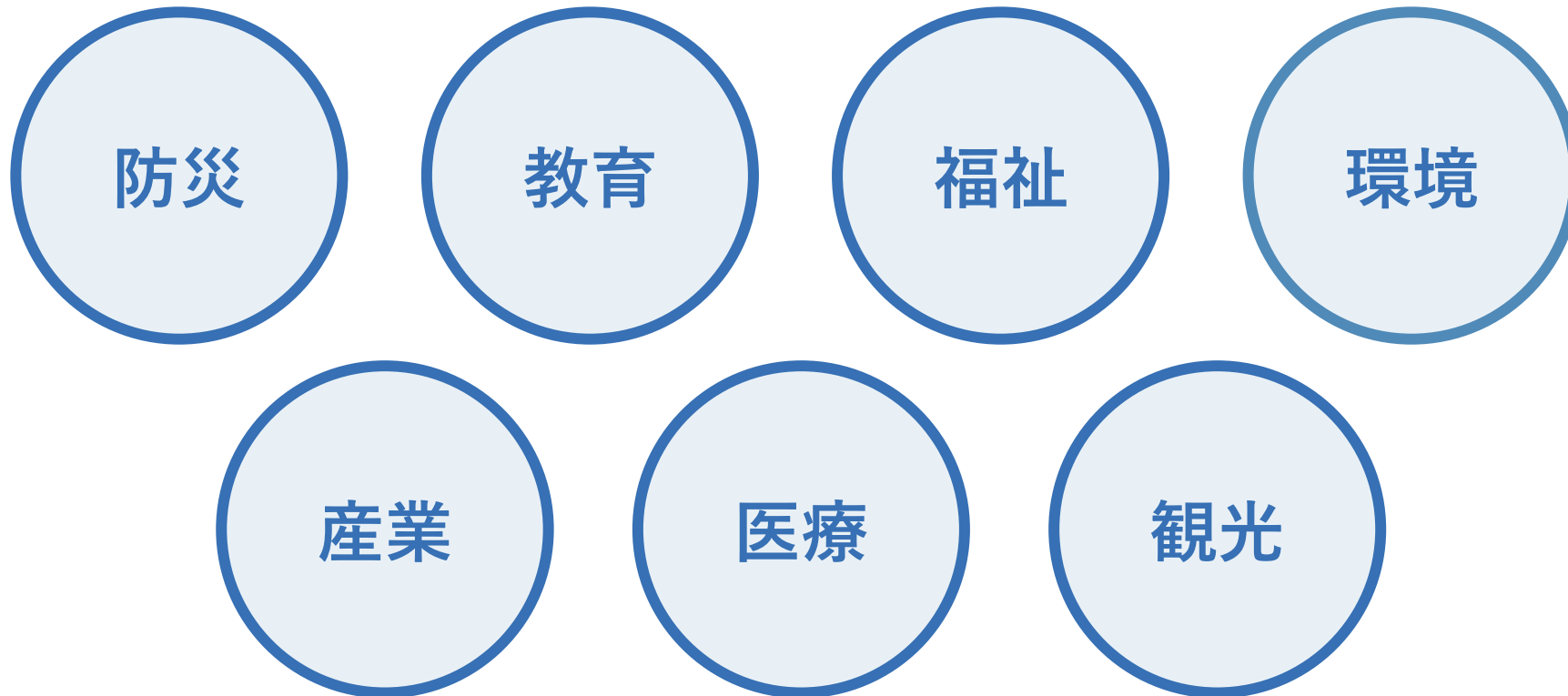
◎ 遠隔コミュニケーションサービス「RemoPick®」

りんご農家さんとの関わりから生まれたソリューション。スマートグラスとタブレット等を用いて遠隔地をリアルタイムに繋ぐ、コミュニケーションサービス。様々な実証実験を経てサービス化。

➔ 観光、教育、製造など様々な現場で活用



地域との連携強化

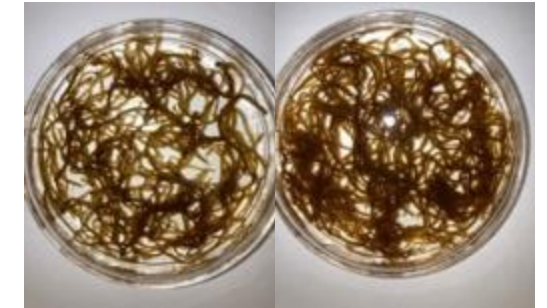
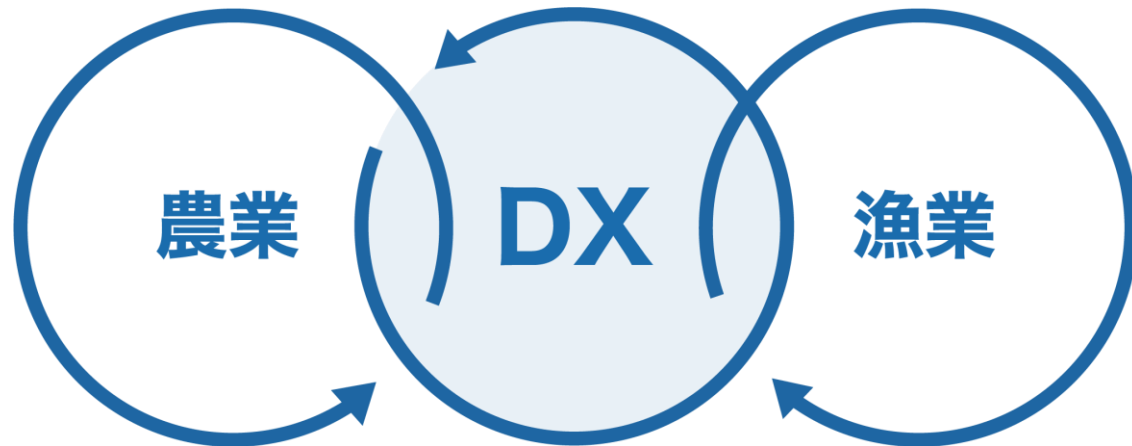


| ICT KŌBŌ®の取り組み -地域との連携強化-

● 漁協DX

沖縄県うるま市はもずくの栽培が盛んな地域。もずくの水揚げ時は、太さ・色・ぬめりなどをもとに目視で選別を行っている。その他にも手書きの伝票管理など、アナログ作業が中心であると判明し、品質AI判定・各種データ入力・帳票出力を実現するアプリと装置のプロトタイプを開発。

➡ 水揚げ時の作業フローの効率化を図るべく、うるま市勝連漁協にて実証実験を実施中



| ICT KŌBŌ®の取り組み -地域との連携強化-

● LPWA ZETAを用いた地域内センシング

2022年度から**飯綱町のDX推進事業の一環**として、町内全域にLPWA ZETA網を敷設。

防災や行政業務の負荷軽減を目的に各種センサーを設置・計測し、さまざまな情報をセンシングにて管理。また、飯綱町のニーズに合わせた新規センサーの開発も実施。

➔ 様々な方面から情報を収集し、自治体職員の業務効率化へ



【積雪センサーの開発背景 2021年度特許出願済】

- ・除雪車の出動判断は雪見当番職員の深夜の見回りで目視判断
- ・山間部では、場所によって積雪量に差がある



- DX -

- SX -

Digital & Sustainable Transformation

『DX』と『SX』によって
ワールドワイドで社会課題を解決する
リーディングカンパニーに



TOPPAN